

# JR東労組盛岡

No.1

2022年7月13日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情宣部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

## 盛岡地本第 37 回定期大会開催!!



## 満場一致で運動方針などを確認!!

### 第37回定期大会スローガン

- JR 東労組結成 35 年！「えん罪・JR 浦和電車区事件」を美世志会と共にたたかい抜いた 20 年！「抵抗とヒューマンイズム」の精神を基軸に、いかなるテロにも戦争にも反対し、憲法9条を守り戦争のない平和で安心して暮らせる社会の実現をめざそう！
- 「新たな施策に対する5本柱」を基に、今後も JR 東日本の経営姿勢に立ち向かい、組合員と共に「新生 JR 東労組運動宣言」を実践し、組織強化・拡大！組織の未来を切り拓こう！

7月11日、ホテルニューカーリーナにおいて盛岡地本第37回定期大会を開催しました。佐々木委員長の挨拶では、「職場と労働環境が変わる中において、東労組組織を守り、組合員の利益と生活を守っていくため、何が出来るかを考えなければならない時が来ている」と述べられました。質疑では14名の代議員から、「22 春闘・夏季手当のたたかい」「過半数代表者選挙」「組織強化・拡大」「組織再編」「不当労働行為を許さないたたかい」などについて、多くの教訓的な発言がありました。

「抵抗とヒューマンイズム」を基に、良い会社、良い職場、良い仕事と思える労働環境をつくり出していくことを確認しました！

### 【今大会を成功裡に導いて 頂いた議長団】



阿部代議員(左:青森支部)と  
永田代議員(右:盛岡支部)

### 【新役員選出！】



昆野彰夫さん  
(執行副委員長)  
小泉誠志さん  
(執行委員)

よろしくお願ひします!!

### 【退任された役員】



小田島裕幸さん  
(執行副委員長)  
中野洋介さん  
(執行副委員長)

今までありがとうございました！  
新天地でのご活躍を祈念いたします！

### 【役員体制】

役職名	氏名	支部	役職名	氏名	支部
執行委員長	佐々木 克之	盛岡	執行委員	外地 剛	一関
執行副委員長	石崎 武則	盛岡	執行委員	峠館 健太	盛岡
執行副委員長	浅沼 宏優	盛岡	執行委員	石橋 優輔	一関
執行副委員長	深持 直樹	一関	執行委員	小泉 誠志	青森
執行副委員長	昆野 彰夫	盛岡	執行委員	前田 雅俊	盛岡
書記長	大村 博行	盛岡	執行委員	立花 且大	盛岡
執行委員	木村 洋	八戸	執行委員	高橋 健	盛岡
執行委員	菅原 哲也	盛岡	執行委員	石川 和行	盛岡
執行委員	黒滝 慎吾	八戸	会計監査員	関 一史	盛岡
執行委員	伊藤 栄悦	盛岡	会計監査員	亀梨 仁	一関
執行委員	其田 洋輔	盛岡	会計監査員	小川 卓也	盛岡
執行委員	浅利 竜也	盛岡			



本部大会にて新たに中央執行副委員長に  
選出された、佐々木克之執行委員長



本部大会にて新たに組織研修担当部長に  
選出された、吉田昌文さん  
(盛岡新幹線運輸区)

共に頑張りましょう!!

## 盛岡地本第37回定期大会 大会宣言

### 大会宣言

JR東労組盛岡地本は7月11日、盛岡市「ホテルニューカーリーナ」において「第37回定期大会」を開催した。多くの代議員から職場での教訓的な実践が語られ、「JR東労組結成35年」・「えん罪・JR浦和電車区事件から20年」の節目の大会をつくり出し、スローガンをはじめとする運動方針などを満場一致で確認した。

21春闘の敗北総括を出発点として22春闘、夏季手当のたたかいを積み重ねてきた。「賃上げとは何か?」「春闘とは何か?」の議論を深め、あきらめ感や閉塞感「仕方がない」という社内世論を蔓延させ、コロナ禍に乗じて低額賃金を定着させようとする会社姿勢へ立ち向かい、情報紙や掲示板を活用し、組合員の怒りの声を発信してきた。年々増し続ける生産性向上の施策や物価高騰など、厳しい労働実感・生活実感に対し、未加入者とも議論を重ね、22春闘では1,000件以上、夏季手当では短い時間ながら266件の声を集約し、本部交渉を支えてきた。またJRバス東北本部は、夏季手当低額回答に対し「納得できないものは納得できない」という組合員の声を基に、支給日まで粘り強くたたかい抜いてきた。低額賃金を当たり前にせず、怒り・悔しさをバネに、組織強化・拡大を一人ひとりが堂々と実践し、労働者意識を高めて要求実現につなげよう。

3月12日、統括センター・営業統括センターが発足され「変革2027」に基づく施策が本格化している。矢継ぎ早な施策によって、教育や経験が不十分な業務や、施策の理解が乏しいなど課題が浮き彫りになり、その歪みが安全とサービス、職場風土などで表面化している。職場では官僚体質、ハラスメントや不当労働行為が横行し、会社の将来を悲観し、離職する社員が後を絶たない。地本は2度のワークビジョンフォーラムを開催し、組織再編施策に対し、守るべきは「安全」と「健康」であると柱を明確にし、要求づくり運動を軸に会社施策と向き合ってきた。また、支社で発生した不当労働行為に対し、是正するたたかいはもつくりだしてきた。教訓は当該組合員が不当労働行為を告発し、支部・分会がその勇気と決意を我がものにし、組織破壊攻撃を跳ね返すたたかいはもつくりだした事である。職場からのたたかいはによって不当労働行為を跳ね返した成果を全体で確認し、ハラスメントや不当労働行為撲滅に向けてたたかいを推し進めよう。年功賃金を評価型・成果型賃金へ変える動きが顕著になる中、すべての事象から「会社とは何か?」に迫り、ワークビジョンのたたかいを更に職場に根付かせ、会社姿勢に立ち向かおう。

ロシアによるウクライナ侵攻が始まって4ヶ月が経過するが未だ終息が見えない。ロシア「悪」ウクライナ「正義」というマスコミ報道に惑わされることなく、この戦争の裏で何が起きているのか見抜く必要がある。現に日本では、防衛費の「相当な増額」の表明、そして緊急事態条項の創設や、憲法9条改悪を通じて、日本の軍事大国化をめざす動きが鮮明になっている。私たちは避難民へのカンパを通じて支援と、労働者が加害者にも被害者にもなる戦争の悲惨さを改めて学んできた。労働組合として組合員の命と生活を守るために、私たちと意思を同じくする、第26回参議院議員選挙当選者を始めとしたすべての仲間と連帯していこう。

組織再編施策を見据え、地方本部の横断的な指導体制と、職場活動の強化を目指し「東北協議会」設立が提起された。組織の将来を左右する重要な1年を、全組合員で議論をつくりだし、未来の組織展望を切り拓こう! JR東労組結成から35年、「えん罪・浦和電車区事件」を美世志会と共にたたかい抜いて20年を迎えた。大弾圧や組織破壊攻撃に対し真実を見抜き、組合員の雇用と利益を守るため労働者らしくたたかい続けてきた。私たちはこれからも「抵抗とヒューマンイズム」の精神で、組合員の利益、平和で安心して暮らせる社会の実現のために組織強化・拡大に向けて「職場からの挑戦」で未来を切り拓こうではないか!

以上、宣言する。

2022年7月11日  
東日本旅客鉄道労働組合  
盛岡地方本部  
第37回定期大会

組合員の雇用と利益、  
命と生活を守り続けていくために  
全組合員で新たなスタートを切るぞう!